

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

整地されしわが家の庭に五月雨がひねもす降りて逝きしうからよ  
打ち寄する波音高く様々な思ひ迫りて夜半に眠れず  
里芋の広葉に朝の露光りこぼれぬ程に寒き風吹く  
迷ひるる免許返納あきらめぬ高齢講習通知届きて  
緑濃き庭の葉群れに這ひゆれるブーゲンビリアの鮮やかな朱  
乳を欲る仔牛が梅雨の風吹く夜思ひ出しし如一声鳴きぬ  
疫病の流行れば互ひにマスクかけ目だけの挨拶手を振り別る  
坂之下典子

## 一般作品

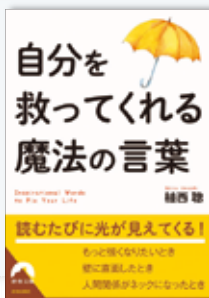
梅雨明けは博多の街を駆け抜ける祭り懐し祇園山笠  
思えども想い出せずに天仰ぐそれはその管行きずりの人  
休日夕べたわいのなきさんば孫住む家を訪ひてをり  
ありて逢い歌い踊りて笑む七十路いつまた逢わん長島の友よ  
むべの種埋めおきたるは去年のことよう芽だし苗の体なす  
世に生れ年取るなればつらいこと今日有る命ち明日なき命  
サングラス架ける回りが総じて青く「俳句」  
小林 貢  
小林 如月  
中仮屋辰子  
後藤ヨシエ  
母木 良平  
町田 末則  
宗方 清明

## 明神俳句会

居残りの鶴の一声夏は来ぬ  
紫陽花に呼び止められる朝の道  
故郷の元気を貰う石路届く  
子の無事を願えばそよぐ鯉のぼり  
底石にふくるる水や夏に入る  
白男川孝仁 羊羹を厚切りにして新茶汲む  
肥後 広行 風薫る父の遺品の皮財布  
大堂 正弘 自肅とや人の儂さ桐の花  
関 喜久雄 不揃ひの玉葱を乾す犬走り  
迫口 君代 紫陽花や雨にうたれて生き生きと  
山寄加代子  
関 佳代美  
大堂 早苗  
二階堂妙子  
二階堂恵子

## 町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



自分を救ってくれる  
魔法の言葉

著：植西 聰

人間関係に悩んだ時、読むだけで心が軽くなる。そんな言葉を声に出して読んでみませんか。



夏休みに、ぼくが  
図書館で見つけたもの

作：濱野 京子

本がつなぐひと夏の友情物語。主人公、達輝のいつもと違う夏休みが始まります。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111